

2017年度 ダイバーシティ推進委員会 事業報告

【男女共同参画・障がい・セクシュアル・マイノリティ・その他】

	年間目標	達成基準・状況	施策	達成できた点	担当
1	長期的な展望に立つダイバーシティの推進	①ダイバーシティ推進委員会の運営体制が確立している。	①ダイバーシティ推進委員会・部会の体制について、必要な変更を行う。	ダイバーシティ推進委員会設置要綱や運営規則等の修正した	委員会/推進室
		②ダイバーシティ推進体制が全学的に統合されている。	②スチューデントダイバーシティセンターを含む学内外他機関との連携方法を検討し、体制を強化する。	スチューデントダイバーシティセンターと協働で下記の取組を実施した。 ・4/12公開講演会「多様な生き方を受容することーLGBTQをめぐる米国の現状からー」 ・7/27韓国青年訪問団来訪対応	
2	ダイバーシティ推進に必要な調査の実施と課題の洗い出し	ダイバーシティ推進のため必要な調査が実施され、結果をもとに課題が明確になっている。	①障がいを持つ学生・教職員への理解や、セクシュアル・マイノリティに関する意識について学内アンケートを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学内アンケートの実施について、障がい学生支援室、学生部(GSセンター)に調査の内容等につき、ヒアリングを行ったうえで、各部会にて調査概要・調査票の検討、12月に学内箇所へアンケートを依頼した。 ・回答を集計・分析した結果、障がい者支援については障がいの内容や合理的配慮の提供に関する理解不足、障がい学生支援室の体制強化、箇所間の連携などの課題が見られた。またセクシュアルマイノリティ支援については、差別的な言動の事例が報告されるなど、教職員に対する理解啓発が急務であることから、急ぎ『セクシュアルマイノリティ学生への配慮・対応ガイド(教職員向け)』を策定し、全教職員へ配付することとなった。 ・アンケートの結果、バリアフリー化や設備拡充など、施設上の課題はキャンパス企画部に報告し対応を依頼した。 	委員会/推進室 広報調査部会 制度環境部会
			②学内アンケートで得られた結果と、実際の施策や意識を突き合わせるため、関係箇所へのヒアリングを行い、問題点や課題の洗い出しを行う。		
3	ダイバーシティ推進に対する全学的な意識向上	ダイバーシティについて構成員の理解が進んでいる。	① 大学のダイバーシティを考えるシンポジウムを開催する	7/1「早稲田大学ダイバーシティ推進宣言」を公表、8/2早稲田大学ダイバーシティ推進室開設1周年記念シンポジウム「ダイバーシティと早稲田大学の使命」を開催	委員会/推進室
			②障がい者への合理的配慮についておよびセクシュアル・マイノリティについて、構成員の理解を進めるためのオンデマンド・コンテンツを制作、Course N@viで配信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい学生支援室と連携し、障がい学生への修学支援についての動画コンテンツを作成、CourseN@vi全学FDコンテンツ「障がい学生への修学支援として9/27より配信開始した 	
			③ダイバーシティ推進に関する啓発セミナー、講演会、意見交換会等を年間6回以上開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・5/19WSC寄付講座(春前半)公開講演会「腕がつかえないというスペシャルなこと〜『個性』が際立つパラリンピック〜」参加者:学生・教職員・一般 100名 ・6/23にWSC寄付講座(春後半)公開講演会「企業の女性活躍推進は今ーリクルートグループのダイバーシティ推進から」参加者:学生・教職員・一般 83名 ・11/2第3回Rikoティータイムシンポジウム「私がこの道を選んだ理由」参加者:学生・教職員 48名 ・11/10 スウェーデン大使館協力公開講演会「ジェンダーを超えて自分らしく生きられる社会ー男女平等・LGBTQに関するスウェーデンの取り組みー」参加者:学生・教職員・一般 201名 ・12/18戸山キャンパス若手研究者のランチ会「自分らしく歩みたい研究者、それぞれのワーク・ライフ・バランス」参加者:学生・教職員・研究者 29名 ・2018/1/23両立ランチ会「小1の壁」参加者:職員6名 ・2018/2/28両立ランチ会「PTA活動への関わり方」参加者:職員5名 ・2018/3/13両立ランチ会「介護との両立」参加者:職員3名 	
4	人権・ジェンダー・労働・ダイバーシティに関わる教育・研究の推進	①WSCメンバーズ基金寄附講座「ダイバーシティ・男女共同参画を学ぶ」の履修学生数が前年度以上となっている。	①WSCメンバーズ基金寄附講座「ダイバーシティ・男女共同参画を学ぶ」を実施する。 4月～7月 授業実施 公開講座時の参加者数目標 100名	障がい者支援、男女共同参画に関する公開講座を2回(5月、6月)を実施し、2回合わせて183名が受講。	教育研修部会
		②学内で開講中のダイバーシティ関連科目データベースが更新されている。	②学内で開講中の関連科目の内容および担当者のデータベースのアップデート作業を行う。	関連科目のアップデート完了(5月)	教育研修部会

	年間目標	達成基準・状況	施策	達成できた点	担当
5	ライフイベントサポートシステムの改善と拡充	①西早稲田キャンパスのダイバーシティ推進室分室が有効利用されている。	①西早稲田キャンパス60号館2階ダイバーシティ推進室分室の利用状況を検証し、必要な改善を進める。	・60号館ダイバーシティ推進室分室は利用者意見により平日の1時間延長と土曜日を開室することとした(6月) ・図書館に子供同伴での入館可能となるよう働きかけ、所沢(6月)中央図書館(7月)戸山(10月)理工(2018年4月)で実現。	委員会/推進室 制度環境部会
		②「早稲田大学UDマップ」が完成し、アップデートされている。	②早稲田大学UD(ユニバーサルデザイン)マップについて、企画・建設課と連携し情報のアップデートを行う。	・関係箇所からの施設更新情報等を取りまとめ、2018年3月更新。 ・主要箇所の日英併記にリニューアル。	委員会/推進室 広報調査部会
6	ダイバーシティ推進についての進捗状況の周知	早稲田大学のダイバーシティ推進状況が学内外にわかりやすく広報されている。	①ウェブサイトによる情報発信を充実させるとともに、Facebook等のSNSを利用した効果的な広報を工夫する。	・ウェブサイトによる情報発信を充実させ、年間の自箇所記事投稿数は52件から70件に増加。また記事英訳率も15%から23%に上昇した。結果、ウェブサイトのニュース閲覧数は前年から3,000件以上の増加となる6,307件となった。 ・SNSは年間で126投稿(前年度:47投稿 ※ただし、2016年10月からSNS運用開始のため期間は2016/10-2017/3)を発信し、約47万件(前年度は約4万)のインプレッションを獲得した。	委員会/推進室 広報調査部会
			②ニュースレターを定期発行する。	・「さんかくニュースNo.18」発行(9月) ・「さんかくニュースNo.19」発行(2018年3月)	委員会/推進室 広報調査部会

【男女共同参画】

	年間目標		施策	【達成状況】	担当
7	女性専任教員比率の向上	女性活躍推進法で定めた行動計画1年目(2016年度)の結果を公表し、結果をもとに施策に結び付ける。	①女性活躍推進法で定めた行動計画1年目(2016年度)の結果を取りまとめ、公表する。	任期の定めのない女性教員の採用割合を含む「女性の活躍に関する情報公表」を7月に更新・公開した。また昨年に引き続き各学術院で設定した女性教員採用人数目標の検証として、調査を行い、この結果を法人会議、教学会議へ報告した。また関連して教員の育児支援に関する申し合わせを改正した。	委員会/推進室 制度環境部会
			②1年目の結果から、必要に応じ各学術院・附属校と意見交換を行う。	行動計画の結果を受け、一部学術院と意見交換を行った。女性教員採用・雇用の継続のための施策として「教員の育児支援に関する申し合わせ」を改正し、申し出により育児支援の措置が必ずされること、また支援の際の具体的対応方法を明確にした。	委員会/推進室 制度環境部会
8	女性専任職員および女性管理職の比率の向上	①女性活躍推進法で定めた行動計画1年目(2016年度)の結果を検証し、施策に結びつける。 ②職員管理職者の女性登用に関する意識の現状が把握されている。	①「ダイバーシティと女性職員の一層の活躍を実現するための研修プログラム」の内容をさらに検証し実施する。	・7/5人事課研修として産休・育休から復職した女性職員対象の「職場復帰後セミナー」実施 ・9/11職員管理職セミナー「多様な人材の育成と管理・長時間労働と働き方改革」実施	教育研修部会
			②職員管理職者の女性登用に関する意識の現状が把握されている。	②職員管理職者の女性登用に対する意識調査を行う。	・部会にて女性職員管理職者を対象としたアンケート実施概要・調査票の検討し、アンケート実施。回答結果を集計し、レポート作成・報告した。
9	女性キャリア初期研究者への支援	「メンター制度」を実施し、効果を検証し必要な改善がされている。	「メンター制度」について、利用者アンケート等を実施し、継続可能な制度となるよう改善を図る。	メンター制度の対象を理工学術院から全学術院に拡大し、全学術院専任教員へ周知した。	制度環境部会
10	女子学生の進学・就職支援	キャリアセンター等学内他箇所との協力体制が強化されている。	キャリアセンターや各学術院等による女子学生の進学・就職支援に関するセミナー等に協力する。	・5/27ジェンダーサミット10サテライトイベント「進路で人生どう変わる？ 理系で広がる私の未来」に「リケジョ経験談」として、基幹理工学研究科女性大学院生が登壇。 ・6/10「ロースクールに行こう！女性法曹の魅力を考えるシンポジウム」対象：大学生・高校生(後援) ・7/15グローバル女性科学技術【GWST】会議 世界で輝け理系女子！あなたの夢が世界を変えるに理工学術院学生と院生が参加 ・10/23 トリーパーチ公開講演会(後援) ・11/11稲門女性ネットワーク(TWN)主催のイベント「自分の未来を発見しよう」(協力)	教育研修部会

以上